

はしがき

本書は、「中学1年生」から「大人」まで、英文法を学ぼうとする全ての人を対象としています。英語の学習者が学ぶべき「英文法」の範囲は、実用英語技能検定（いわゆる「英検」）のレベルで考えるならば、「5級」から「2級」までであり、本書が発刊された2021年1月現在、それは一般的に日本の「中学1年生」から「高校3年生」までが習う範囲であると言われています。これより上のレベルである「英検準1級」や「英検1級」においては、新たな文法項目は登場しません。つまり、「英文法」というものは、「英検2級」まででおしまいということです。

英文法を学ぼうとする際、自分のレベルに合った英文法の解説書を使って学び、それを終えたら次のレベルに進む、といった方法を選ぶ学習者もいることでしょう。しかし、学習者のレベルが、上記の英検のレベルとびったり合致している、などということは稀です。真の初学者を除き、多くの場合、1人1人の学習者のレベルは、上記の英検の分類のうちの「複数のレベル」にまたがっていて当然です。そこで本書では「英検5級」から「英検2級」までの全ての文法項目を1冊の中にまとめ、学習者がどのレベルであろうとも、この1冊で完全網羅できるようにしました。具体的にどの章のどの部分がどのレベルであるか、ということは明記しませんでした。学習者は、自分の知りたい文法項目のページを開き、そこを読み進めていけば良いのです。そして、読み進めていくうちに、「知らない言葉」や「理解していない部分」を見つけたならば、今度はそれに該当する本書の別のページを読み、理解をつなげていけば良いのです。そのような学習方法を可能とするため、本書では、「別の文法項目への参照ページ」をなるべく多く示すように工夫しました。また、文法の解説のために必要な「言葉」についても、なるべく詳しく、かつなるべく平易な日本語で説明するようにしました。例えば、「修飾する」といった言葉ですら、本書では丁寧に解説しました。

学習者は、本書の中を行ったり来たりしながら、同じページを何度も読み返し、少しずつ「英文法の全て」を身につけていくことができます。そして、本書で扱われている「英検2級」までの文法項目を学習していくにつれて、学習者の目には、次第に「世界の人々とのつながり」が見えてくるものと思われます。前述のように、「英文法」の学習は「英検2級」までの範囲でおしまいです。言い換えるならば、世界の人々が日常的に使用している「英語」は、原則的に「英検2級」までの英文法で書かれたり話されたりしている、ということなのです。

このように、「英検5級から2級まで」の全ての文法項目を学ぶことは、「世界につながる」ことを意味します。英語学習者の皆さんが、本書を通じて、少しずつであっても「世界につながる」ということを実感することができたならば、それは英文法を解説することを生業としてきた者にとって、この上ない幸せです。